

南加教育の現状と 児童教養の將來

誤解なきやう
攝政制度
第五 沿大審院長諭話
「へら、誰方でござりますか、まことに申譯がございません」と、正直な諭信法師は撮をとて折角、曲く終りに至らうとする時、断りなしに社内に庭へ闖入しては困るるじやないか」
時に、返事をしました。
「誠に申譯がございません」
信法師は、琵琶を藤の上にさし置いて、つて徐に説明を試みやうとも思ひ度あります。
「申譯が無いと悟つたら早く出て行かつてしまへ」
長い竿で辯駁の頭を突つかうとします。

間の山



でなく大權は全く天皇に存してゐる。つまり天皇の御病状が御政を置かるる理由である。そこで天皇の御病状が御政を置かるる理由である。

松平、水谷、雷蔵、記念、西瀬の間議の模様は極秘裡に行はれ吾々に於ては族會議が開始されたと云ふ。議の窺ひ知る所以でないから、東宮殿下、職務に着かせられ伏見大宮殿下より議事を進めさせられ最^{シテ}和やかに挙げられ午前十一時半頃全會一致の御同意にて終了し賜餐に共にせられ午後一時過各宮殿下には御退出に後つた。

海中の久邇宮、伏見宮兩若宮殿に下の外豫定の通り、皇族十二宮殿が日本の國體よりして臣下攝政の事はある可からざることである故に、是等は今日の攝政政は異るところの一の官職とも見る可いのである。攝政はそこまでも御代行ならぬれば大權を儼然として天皇の御名を要する公文に在る故に御名を要する公文には御名を署し其後に攝政御自身の名を署するので此名分をそらすことは出来ぬ攝政令の規定であつて攝政が御自分の権を行ふの

父兄會に於て學務委員と稱する。小才子は何を語る、區々たる経費問題に非ずんば教員の易々として己が順使に任せざるをか。こんなのみ、余は何すれば言を好む、しかも之を言ふは勢ひ止むを得ざればなり、聽者はトロビコ圖蘭其他の内狀を知もむ。上町下町の現状を知らし、聖林を知らし、知らざれば幸なり。務委員よ諸君は授業時間割ふぞ、薄給で人材を教員に求めば幼稚園は立派に經營するを得るを知らむ、そは補助教員は幾人も教育課より無料仕合を得ければなり、父兄會に見受けられる面々は皆參謀官の金毛鐵然なる金額に鋼石入りの時計を帶してゐる、それで兒童の教育費を借りる、常節柄だ少しは活き金を貸す。切る、常節柄だ少しは活き金を貸す。使用して死んで貰ひ度い、子供を造るのは芋を作るので云々が

連博士、象徴と云ふ不識者な人間より、屏へない聲である。然し學校を壓迫する意味に非ず、當局は那部學成院に深書の問情を有する結果となるが故に、間僚の聲は月給百二十弗であつた。之は代物以上の給料であるが、現在試験に不合格となり即に連博士の專業になりたる結果月給苦笑を禁するを得ぬ。久能某氏つて外相を撫拂すると同時に、老中にても時局の重大なることを聞かねる度に余は一種の嘲笑譲開會を理由として、ある某氏を地じ極力慰留し、

11

110

11

11

11

新渡米



申込所
公認 加州 桑港興行會社 奥定吉
電話タエスト八七六八

南山血染の聯隊旗
川崎大尉
野よ咲く花
天の恵
(家庭用)

は當會社が開祖
が當會社の特色
ふるを以て目的

日本ホテル
San Francisco, California

合資
相馬茶店
222-4-6 E. First St., L. A. Calif.

相馬茶店は右
上米國各地へ
年末年始の贈答
入銷茶に限り
相馬山茶
一代の友
一斤
代一
半斤
樂
香
來
一斤
上煎茶
半斤

原教俊 須布 住屋知りたし

人廣場富田政
最近便にて説國致
し度本人又は注所御
ながら下記迄御通

喜氏に對
以爲間大至
御存知の御方は
御頼り度頼上候
御菓子卸小賣
武田製菓所

シートル出帆廣告

英美三事務室中手取
月廿四日出帆
入港
因
于十一月廿五日正午度の所
止

大正藥舖

TAISHO DRUG CO. 1601 Post St., S. F. Calif.

開業拾週年
記念として
贈答品大賣出

△△△△△

年	月	日	船名	港
明治三十五年	十二月	九日	見磐丸	横濱
三十六年	一月	十五日	九十九丸	横濱
三十七年	二月	十七日	九十九丸	横濱
三十八年	三月	廿四日	島丸	横濱
三十九年	四月	廿六日	九十九丸	横濱
四十一年	五月	廿八日	九十九丸	横濱
四十二年	六月	廿一日	九十九丸	横濱
四十三年	七月	廿四日	九十九丸	横濱
四十四年	八月	廿七日	九十九丸	横濱
四十五年	九月	廿九日	九十九丸	横濱
四十六年	十月	廿二日	九十九丸	横濱
四十七年	十一月	廿四日	九十九丸	横濱
四十八年	十二月	廿六日	九十九丸	横濱
四十九年	一月	廿八日	九十九丸	横濱
五十一年	二月	廿九日	九十九丸	横濱
五十二年	三月	三十日	九十九丸	横濱
五十三年	四月	廿九日	九十九丸	横濱
五十四年	五月	廿九日	九十九丸	横濱
五十五年	六月	廿九日	九十九丸	横濱
五十六年	七月	廿九日	九十九丸	横濱
五十七年	八月	廿九日	九十九丸	横濱
五十八年	九月	廿九日	九十九丸	横濱
五十九年	十月	廿九日	九十九丸	横濱
六十一年	十一月	廿九日	九十九丸	横濱
六十二年	十二月	廿九日	九十九丸	横濱

